



サタモラ配信

サタモラ（先生方のサタデーにモラルの追い風を送ります）

「コロナ禍だからこそ、何かすべき事がある。何か見過ごしてはいないか。見捨てていないだろうか。今、自分にできる事は何かだろうか」と、考えながらモラロジー研究所に勤めて一か月が過ぎた十一月。ユーチューブ配信をしている知人の番組にこれまで何度か出演していた事に気がつき、この運営をされている方の御子息は、生まれつきの全聾全盲であったために、親

サタモラ & メルマガ

として生きていくうちに何かできる事はないか、その仕組みを作りたいたいの思いで立ち上げ継続されています。

この取り組みは、モラロジーでも同じ思いであり、さらに発信するならば、この時期だからこそ映像を巧みに使い「明るく、楽しく、分かりやすく、爽やかに」発信出来ないかと考えたのです。周りの方に相談をすると、地から湧き出るように理解者、支援者が次々に現れ、実現化が図られたのです。それは、「利他」の思いに徹していたからこそであり、まさしく、廣池千九郎博士の教えの通りでありました。年も改まり、廣池理事長から「今年は、実践であり、行動ですよ」と話されました。勿論、まだまだ改善が必要ですが：会を重ねながらレベルアップをして参りたいと思います。一人でも多くの方に周知頂けましたら「助かり」ます。

モラロジーを羅針盤に、サタモラ号は人類の輝かしい未来を

信じて大海へと出航です。

●視聴者の感想

・誠実に、丁寧な、笑顔が一番心に響く事がいっぱいでした。ありがとうございます。

元小学校校長

・園だけでなく小学校の保護者にも聞いてもらいたいです。

認定子ども園園長

・営業での部下育成にも大変に為になります。

大手不動産支店長

サタモラ配信は「サタデーモラル」で検索できます。



先生応援！メルマガ

Q どのようなきっかけで始められたのでしょうか？

A 必要感に迫られてでした。コロナ禍により全国で行われてきた道德教育研究の例会年八十二会場が、今年は沖縄の二会場にとどまってしまうました。それもズームでの開催でしたので、研究所として全国から参加できる研究会として紹介したいと考えメルマガを配信したのです。

Q 今後の抱負は？

A 配信したからと言って皆さんにご覧いただけていることには限りません。ですから「友達の友達」は、「皆友達」と言われるように、つなげてほしいと思っています。また本誌等に紹介したり公式ホームページでPRしたりするので愛読いただけますようお願いいたします。

●「コラム」から一部紹介

三学期の始業式

全校児童に向かって、新年の挨拶もそこそこに本題に入った。

「干支って知っている？」「全部言えるかな？」児童が「子、丑、寅…」と答えるのに合わせて干支の絵を黒板に貼った。

「どうしてネズミさんが一番になったのかな？」と畳みかけた。「テレビのサザエさんで見たよ！」と、子どもたち。そっか、参った！

(中略)

「丑年は『我慢』と『これから発展する準備』の年でもあります。「今年一年間で、どんなことをじっくりやりたいか」目標を考えて頑張りましょうね」：子どもたちのほうが、聞き上手で大人でした。



<メルマガ登録>